



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)保土ヶ谷区峰沢町PJ 新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市保土ヶ谷区峰沢町349-1、350-1、350-8	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	73 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年4月22日
敷地面積	1,717 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)横浜支社流通一級建築士事務所
建築面積	679 m ²	確認日	2021年4月22日
延床面積	2,615 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)横浜支社流通一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 89% (164 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 89% (164 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 89% (164 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 個々の利用者の住環境の向上を考慮し、プライバシーの確保に努めています。 低層の建物とし、周辺環境への影響を最小限となるよう考慮しています。		その他
Q1 室内環境 屋光率を高めに設定し、光・視環境に配慮しています。	Q2 サービス性能 補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮しています。	Q3 室外環境(敷地内) 夜間照明の設置など防犯性に配慮しています。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮しています。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓、省水型機器を用いるなど、水資源を保護しています。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



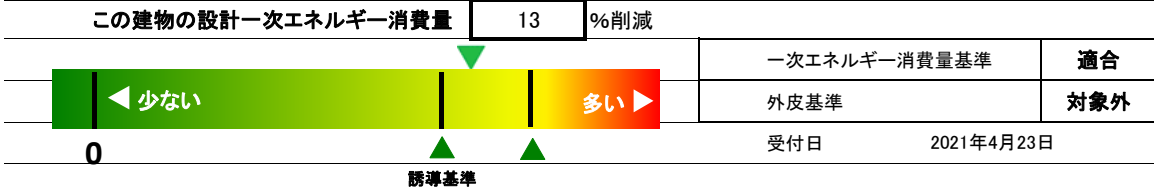
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)保土ヶ谷区峰沢町PJ 新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPIm=0.81

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど、建物の耐用性・信頼性に配慮しています。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7
(仮称)保土ヶ谷区峰沢町PJ 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.3
Q1 室内環境						0.40			2.4
1 音環境					2.3	0.15	2.2	1.00	2.3
1.1 騒音					3.0	0.40	3.0	0.40	-
1.2 遮音					2.4	0.40	2.2	0.40	-
1 開口部遮音性能					3.0	0.40	3.0	0.30	-
2 界壁遮音性能					2.0	0.60	1.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	1.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	4.0	0.20	-
1.3 吸音					1.0	0.20	1.0	0.20	-
2 温熱環境					2.0	0.35	1.8	1.00	1.9
2.1 室温制御					2.5	0.50	2.1	0.50	-
1 室温	快適・働きやすさ			⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心		⑨温熱環境 ⑤外皮性能	4.0	0.25	1.0	0.43	-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ			⑨温熱環境	1.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御				⑨温熱環境	1.0	0.20	1.0	0.20	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ			⑨温熱環境	2.0	0.30	2.0	0.30	-
3 光・視環境					2.3	0.25	3.5	1.00	2.9
3.1 昼光利用					3.0	0.30	3.0	0.30	-
1 昼光率	快適・働きやすさ			⑩光環境	3.0	0.60	3.0	0.60	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ			⑩光環境	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ			⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 グレア対策					2.0	0.30	3.0	0.30	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ			⑩光環境	2.0	1.00	3.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ			⑩光環境	4.0	0.15	3.0	0.15	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ			⑩光環境	1.0	0.25	5.0	0.25	-
4 空気環境					2.3	0.25	3.0	1.00	2.6
4.1 発生源対策					3.0	0.50	3.0	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ			⑪空気環境	3.0	1.00	3.0	1.00	-
4.2 換気					2.0	0.30	3.0	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ			⑪空気環境	3.0	0.50	4.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ			⑪空気環境	-	-	4.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ			⑪空気環境	1.0	0.50	1.0	0.33	-
4.3 運用管理					1.0	0.20	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ			⑪空気環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ			⑪空気環境	1.0	1.00	-	-	-
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.8
1 機能性					1.9	0.40	3.8	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ					1.0	0.40	5.0	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ			⑫機能性	-	-	5.0	1.00	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ			⑫機能性	-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ			⑫機能性	1.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ			⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ			⑫機能性	-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ			⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理					4.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ			⑫機能性	4.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ			⑫機能性	4.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性					3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性	防災			⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能	防災			⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.4	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災			⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災			⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災			⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災			⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災			⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災			⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災			⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災			⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災			⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災			⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災			⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性					2.6	0.30	2.4	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり					2.2	0.30	1.8	0.50	-
1 階高のゆとり					1.0	0.60	1.0	0.60	-
2 空間の形状・自由度					4.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり					2.0	0.30	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性					3.4	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性					5.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性					5.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)保土ヶ谷区峰沢町PJ 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
								Q3 室外環境(敷地内)		
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり		⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり		⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ		⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	2.9	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	2.9	
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	4.9	0.20	-	-	-	4.9	
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能		③設備システムの高効率化	2.6	0.50	-	-	-	2.6	
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	-	2.0	
集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能		④効率的運用	1.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	省エネルギー性能		④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能		④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	3.0	
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	-	3.4	
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	-	-	-	2.8	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	2.9	
1 地球温暖化への配慮				3.4	0.33	-	-	-	3.4	
2 地域環境への配慮				2.3	0.33	-	-	-	2.3	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-	-	
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動				-	-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-	-	

上記以外の重点項目									
<事務用途>									
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-
<住宅用途>									
健康と安心									
1 化学汚染物質の対策	健康・安心		⑥健康対策	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心		⑥健康対策	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心		⑥健康対策	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心		⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-